

## 令和7年度 第3回中央市地域公共交通活性化協議会 議事録

日 時:令和7年12月12日(金) 午後2時00分～

場 所:中央市役所本館 2階 202会議室

出席者:14名(欠席者:4名)

赤岡会長 佐々木委員 橘田委員 池田委員(代理:野口氏) 菊島委員  
鈴木委員 窪田委員 服部委員(代理:石渡氏) 有須田委員(代理:小宮山氏)  
古谷委員(代理:坂本氏) 伊藤委員 渡邊委員 丸山委員 浦田委員  
(事務局:土橋課長・山形副主幹・片田主査・二階堂主任)

### 会議概要

#### 1 開 会

#### 2 会長挨拶

#### 3 議 題

##### (1)中央市 AI デマンド交通『のるーと中央』実証運行について

事務局(AIオンデマンド交通運行支援業務の実施業者である「株式会社ケー・シー・エス東京支社」)より【資料1】に基づき、説明。

質 疑:第4回の開催はいつ頃になるか?

回 答:来年の2月から3月を予定している。

質 疑:率直にそのタイミングで事業継続の判断は難しいように思う。

回 答:実証運行の計画が最低でも1年間を行うということとなっており、そこを変更するつもりはない。事業継続の判断は来年2月・3月にではなく、次年度以降に判断をいただくことになる。

質 疑:いままで利用者から運転について、クレームといったものはあったか?

回 答:特にドライバーについてのクレームはないが、予約した停留所とドライバーが待っている場所にずれが生じているということはあった。

質 疑:過去にのる一との車両が通行をできないような狭い道を通ろうとして、右往左往をしているところを見たので確認した。乗降ポイントの設置場所の問題なのか、そういったところも検証してもらいたい。

質 疑:利用者が高齢であることを考えると、設問が細かすぎるのではないか？

これだけのボリュームがあると年配者には回答いただけないと思う。

また利用料金について現在の料金設定が適切なのかという印象がある。

月額料金や回数券などの取組が必要ではないかと考える。

議 長:利用料金については、今回の議題から外れるため、次回以降の議題としたいと思う。

回 答:ボリュームについては事務局内で精査する。聞き漏れが無いようにしたい。

意 見:参考までに従前のコミュニティバスでは乗客に対し、聞き取り調査を行っていた。

デマンド交通についても、今の乗合率であれば聞き取り調査は可能と考えられる。

質 疑:交通空白地域というタイトルは、文書を受け取る側にとっては快くないかもしれない。

回 答:表現方法については検討する。

意 見:登録者数、一日当たりの利用者数が低い状態であるため、説明会の開催など、利用者を増加させるような取り組みに注力する必要があるように感じる。

議題(1)については事務局にて修正の上、進めることで了承された。

(2)その他

特になし。

4 閉 会